

警察本部総括本監査復命書

三重県監査委員 様

警察本部総括本監査の概要は、下記のとおりです。

記

- 1 監査実施機関 警察本部
- 2 監査対象年度 平成14年度
- 3 監査対象期間 平成14年4月1日から平成15年3月31日
- 4 監査実施日 平成15年11月11日
- 5 出席委員等 (委員) 秋田代表監査委員、桜井監査委員、川端監査委員
乙部監査委員
(事務局) 青木局長、渡辺監査監、中村監査主査

6 監査の概要(総括質疑・意見)

項目	発言者	発言内容
		(県警本部長から出席者紹介ののち、別添資料により概要説明)
交通死亡事故の統計について	乙部委員	交通死亡事故のカウント方法であるが、事故発生後24時間以内に亡くなった場合は死亡事故とすると聞いていたが、現在も変わっていないか。また、例えば1週間以内に死亡とか、2週間以内に死亡とかの統計はとっていないのか。
	警務部長	死亡事故の定義は変わっていない。また30日以内死者の統計はある。24時間以内の場合の1.2倍程度である。
	乙部委員	あるなら監査事務局にまた教えてやってほしい。
	警務部長	昨年の死亡事故は211人であったが、30日以内死者数は17人である。
	本部長	最近医療技術が進んでおり事故発生後の死者は減っている。三重県は他県に比べても医療技術は進んでいると聞いている。
刑法犯認知件数の増加について	乙部委員	刑法犯認知件数が平成13年から増え検挙率低下の原因になっているが、他都道府県をみると、数値が変わらないところと、急に増えたところがある。これは各県で統計の方法がまちまちで、認知件数をきちんと表に出していなかった都道府県が急に増えたということではないのか。
	本部長	認知件数が実際に増えているのは確かである。理由の一つは、北勢地区に多い来日外国人犯罪である。景気の悪化により失業し、罪を犯す外国人が多くなっている。私はかつて宮崎県にいたことがあったが、宮崎県は外国人が少なかったので検挙率も高かった。もう一つはこれまで犯罪かどうかかわからないものは保留扱いしていたが、最近はずべて認知件数に含めることとしているためである。
	乙部委員	認知件数は昔からこんなものだったのか。
	警務部長	増えていることは事実である。最近交通事故に限らず保険に入っている人が多く、保険金請求のために警察へ被害を届け出る人が増えていることも